

静岡産業大学総合研究所は、2012年の創設以来、静岡県のビジネス社会をはじめいろいろな社会の発展に寄与することを願い、大学に蓄積してきた情報、知見、アイデア、研究成果、教育力を提供する地域連携活動を行ってきました。

また、皆様方の日々の活動のお役に立つ、身近な情報を広く提供すべく、随時ニュースレターを発行しております。

本年もよろしくお願いいたします。

## ICT教育で地域に新しい価値創造

静岡産業大学 情報学部 教授  
ICT研究機構長  
佐野典秀

静岡県は首都圏、中京圏に近いことから人口流出が多い県です（全国ワースト4位：表1参照）。特に18歳人口の流出は深刻です。

静岡県の総生産の半分は、製造業、サービス業が支えています。これら業種では、既存の製品、サービスへAIやIoTを活用することで新しい価値創造が期待されています。AIやIoTを活用できる人材の育成は、静岡県にとって喫緊の課題と言えます。国は2020年から小学生へのプログラミング教育の必修化を打ち出しています。小学校ではプログラミングという新教科ができる訳ではなく、従来の教科の中でプログラミング教育を実施していくことになっています。

将来AIやIoTを活用できる人材になるために重要なのは、創造性を培う教育です。ロボットをプログラミング教育に活

用するSTEM (Science, Technology, Engineering and Mathematics) 教育がいま注目を集めています。ロボットやCGは、目に見える形で子供達の創造力を刺激し、モチベーションを高めることができます。藤枝市ではソフトバンクグループ株式会社が社会貢献活動として実施の「Pepper 社会貢献プログラム」に応募し、市内全公立小中学校に人型ロボット「Pepper」の貸し出しを受けています。藤枝市にキャンパスを置く静岡産業大学情報学部では、学生と教員が市と協力のもと小中学生向けにPepperのプログラミング講座とコンテストを駅前BiViキャンにて実施し、プログラミング教育をサポートしています。脳の発達において、間接的な経験よりも、実際に身体活動を伴う直接的な経験が重要な事が知られています。ロボットが、話をしながら、両手を広げる動作をするプログラム作成を想定してみましょう。話す言葉の長さによっては、ロボットが両手を広げ

|     | 人口         | 減少数     |
|-----|------------|---------|
| 北海道 | 5,307,813人 | 34,805人 |
| 兵庫県 | 5,485,652人 | 20,813人 |
| 新潟県 | 2,265,730人 | 20,752人 |
| 静岡県 | 3,660,340人 | 19,926人 |
| 福島県 | 1,906,896人 | 19,855人 |
| 青森県 | 1,303,668人 | 15,681人 |
| 大阪府 | 8,631,175人 | 15,205人 |
| 茨城県 | 2,889,169人 | 14,446人 |
| 岐阜県 | 2,005,181人 | 14,310人 |

表1 人口減少 都道府県ランキング  
(2018年1月1日時点) 総務省調査より

る途中で話が終わってしまったり、両手を広げる動作が終了して時間が経過するのに、話が終わらなかったりすることが頻繁に発生します。この2つの動作の並列処理を、実際にロボットにプログラムで実行させてみて初めて子供達は、二つの処理時間を合わせる重要性に気が付きます。他に処理の順序、分岐の条件設定、繰り返し処理の終了設定などの大切さにも気付いていきます。このような学生、教員、藤枝市の協同による取り組みが、2019年実を結び、ソフトバンクグループ本社（東京・汐留）で開催された「Pepper 社会貢献プログラムプログラミング成果発表会」の中学生部門で藤枝市立葉梨中学校が見事、金賞を受賞しました。副賞はアメリカ・シリコンバレーの視察です。藤枝市ではICTコンソーシアムを立ち上げ、幅広い世代に対して、駅前BiViキャンで講座を開催し、ICT活用ができる人材の育成に努めています。近年、AI開発で注目のプログラミング言語「Python」の入門講座や、応用講座も情報学部の卒業生が中心となってBiViキャンで企画・開催され、県内だけでなく、県外からも多くの参加者が集まり、盛大に開催されています（写真1）。

藤枝市を中心とした「AIバレー」の構築も夢ではありません。教育現場においてこれらの人材による教育補助が期待されています。コンソーシアムではICT教育が可能な人材のネットワーク整備も課題となっています。プログラミングやWeb、SNS活用の経験のある主婦の皆さんやシニア世代の皆さんの協力も大きな可能性を秘めています。国が進める働き方改革の大きな柱のひとつでもあります。ICT教育で地域に新しい価値創造の挑戦が始まっています。ご期待下さい。



写真1 BiViキャンで開催されたプログラミング言語Python 入門講座の様子



## 地域再生に向けた中間支援組織との連携

静岡産業大学 情報学部 教授  
総合研究所 所長代理  
小泉祐一郎

地域の自主的な振興を促す「地方創生」が政府の重要政策として推進されている。同様の政策としては、安倍前首相と同郷（長州）の桂内閣の発案によって明治末期から大正期に展開された「地方改良運動」があり、明治の三大模範村の一つとして有名な稲取村（現在の東伊豆町の一部）が表彰されている。また、平成元年に竹下内閣の発案によって「ふるさと創生」がスタートしている。これらの政策の背景には、条件が不利な地域で先行していたモデル事例の存在があった。

ふるさと創生から地方創生に至る約30年間の様々な成功事例の現場を訪問する中で、最近特に気になるのは、地域再生の取組みにおけるキーパーソンの主役と脇役の変化である。地域再生の成功事例のキーパーソンには、主役と脇役の両方が存在することが多い。ふるさと創生では、市町村長や市町村職員が主役の事例が結構見られたが、地方創生では民間の人物が主役で役所の人物は脇役であることが多い。これには、国の資金の地方への配分の仕方も影響しているが、それ以上に、地域再生の手法の重点が地域の団体の振興から個別事業体の振興にシフトしたことが大きいと考えられる。象徴的なのは、地域の特産品を地域全体で盛り上げる産地形成の手法から、個性的な商品やサービスを提供する様々な個別事業体を支援する手法への重点のシフトである。

産地形成は、役所が地域の団体を支援することで目的を達成できたが、個別事業体の支援には、その経営に寄り添って実践的なサポートができる者、すなわち「ドゥタンク」が必要である。ドゥタンクは、シンクタンクとは異なり特定の問題解決に向けた行動が伴っている。ドゥタンクとなる人材としては、商社、百貨店、金融機関などで実践経験のあるコンサルタントや経済団体の経営指導員などのほか、近年、大手の鉄道会社や印刷会社の社員等も所属企業の業務として参入している。

本学経営学部の牧野好洋教授がこのニュースで提言したとおり、地域経済の発展には波及効果を強める施策が必要である。道の駅であれば、その経営主体が黒字であるだけでなく、地域の商品や食材等の消費を拡大し、また、観光拠点として地域内への誘客を促進することが重要である。

様々な個別事業体の活動を地域の発展に活かしていくためには、それをコーディネートする機能が必要であり、ドゥタンクには、単に個別事業体をサポートするだけでなく、地域の産業をつなぐ役割も求められる。そのため、ドゥタンクをサポートする中間支援組織が必要である。中間支援組織は、協議会、経済団体や観光協会の内部組織又は共同組織、社団法人、NPOなど様々な形態がある。

国、都道府県、市町村は、中間支援組織への支援を通じてドゥタンクが活躍できる体制づくりを進めるとともに、地域の大手企業や土産の団体は、その組織に所属する経験豊富な人材がドゥタンクとしても活躍できるように中間支援組織との連携を強化する必要がある。

2021年度 静岡産業大学 磐田キャンパス

## 宅建講座

受講者募集

市販の  
テキスト使用の  
講師による  
完全対面式

## 日 程

通常授業 18時30分～21時00分

4月 13日、20日、27日

5月 11日、18日、25日

6月 1日、8日、15日、22日、29日

7月 6日、13日、20日、27日

8月 3日、17日、24日、31日

9月 7日、14日、21日、28日

10月 5日、12日

各火曜日、全25回

補講（問題演習） 15時00分～21時00分

8月18日、19日、20日（予定）全3回

受講者の都合の良い時間帯に受講し、問題演習を実施するとともに、疑問点を講師が解説します

## 会 場

静岡産業大学 磐田キャンパス（大原1572-1）※駐車場あり

## 受 講 料

2月26日（金）までの 早期申込 68,000円（税別）

2月27日（土）以降の通常申込は 80,000円（税別）

※講師が選考した市販テキストを別途書店から購入していただきます

## 申込締切

3月31日（水）〈早期申込は2月26日（金）〉

定員30名（先着順）

## 申込方法

静岡産業大学HP内の受講者募集記事の申込フォームより申込  
地域交流センター等にあるチラシ裏面申込書に記入の上FAX申 込  
お問合せ

静岡産業大学 磐田キャンパス 総合研究所

TEL 0538-37-0191 / FAX 0538-36-8800 / E-mail:sird@ssu.ac.jp

前年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止に注意し、講座を運営いたします

藤枝BiViキャンでも  
宅建講座を同時開催いたします

詳しくは、藤枝BiViキャン  
TEL 054-639-7164まで  
お問合せください

## 静岡産業大学総合研究所

静岡県藤枝市駿河台4-1-1（静岡産業大学藤枝キャンパス内）  
TEL.054-646-5435 FAX.054-645-1230

SSU総研ニュース

2021年1月